

case. 周南市

# 17 個人住宅③



住宅



>>>

住宅



古いものに新しい価値を与えて  
心地よく暮らすリノベーション

## リノベーション内容

Before



After



もともと母屋にあった玄関を、離れの建物に移動した。また玄関の横にテラスを新設した。

Before



After



離れをセカンドリビングと和室に改修した。天井を取り払い、元の梁を活かしながら解放感のあるリビングにした。

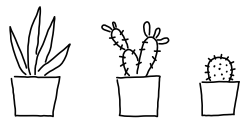
# リノベーション ストーリー

renovation story

以前、私の生活の拠点は福岡にありマンションに住んでいましたが、コロナ禍となったことがきっかけで、3年前から山口と福岡の二拠点生活を始めました。山口で住み始めた住宅はもともと祖父母が住んでいた住宅で、10年近く空き家の状態でした。初めの2年ぐらいはそのまま使用していましたが、子どもができ生活の拠点を完全に山口に移すことにしたため、改修を決意しました。改修する時に意識したことは、「100年後も安心して住むことができる住宅」ということでした。リノベーションはやってみないと分からない部分もあるので、出来上がりを想像する楽しみがありました。改修前は父母から「新築の方がよいのではないか」などの意見をもらいましたが、実際の仕上がりを見てからは「リノベーションしてよかったね」と好意的に受け取ってもらえました。



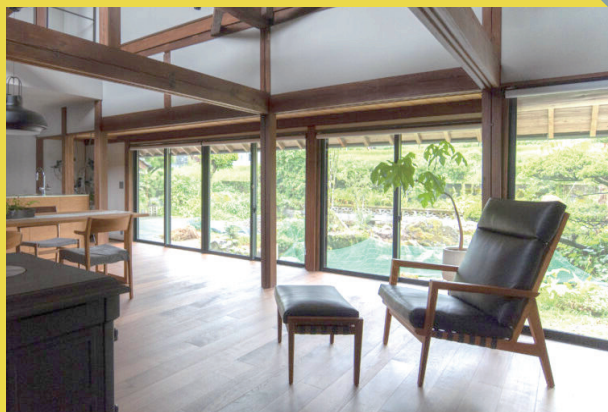
## 利活用までの スケジュール



schedule

● 2018	山口と福岡で二拠点生活開始
● 2019.11	改修の打合せを開始
● 2020.11	1期工事（離れ）着工
● 2022.1	1期工事（離れ）完了
● 2022.3	2期工事（母屋）着工
● 2022.8	2期工事（母屋）完了

## こだわりポイント



### 家族が集まる落ち着いたリビング

補強をして耐震性を高めながらも立派な梁はそのまま使用し、リビングから見える庭も元のを活かしながらスッキリと整えました。壁はクロスではなく塗り壁にこだわって改修しました。家具も家全体の雰囲気合うようブラックチェリー材を使ってオーダーで作製しました。またリビングの中央にある暖炉や照明にもこだわり、落ち着く雰囲気のくつろげるリビングになっています。